

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1491000160	事業の開始年月日	平成19年10月1日	
		指定年月日	平成19年10月1日	
法人名	株式会社 カスタムメディカル研究所			
事業所名	グループホーム 野の花			
所在地	(245-0053) 横浜市戸塚区上矢部町2115-6			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成23年10月26日	評価結果 市町村受理日	平成23年12月22日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1491000160&SCD=320>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

食事は管理栄養士が作成したものを、家庭的にアレンジをして、入居者様が召し上がりたい物を季節事に取り入れ、買い物から食事作りにと職員と一緒に食事を楽しんでいます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成23年11月22日	評価機関 評価決定日	平成23年12月9日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、JR東海道線・横須賀線の戸塚駅からバスで約10分の住宅街と中小工場地域に立地した2ユニットのグループホームです。運営法人は高齢化社会の要請に応え、福祉・医療クリニックをグループに持ち、医療・介護、心電図解析・医療機器販売などを営み、幅広い分野に専門スタッフを揃え、そのノウハウを活かして、地域社会の福祉事業を展開しています。

<優れている点>

職員は事業所の理念に沿って、その人らしい自然な姿で家庭的な環境で共同生活が送ることができるように、日頃の介護・介助に努めています。

運営推進会議は、メンバーに戸塚消防署鳥が丘支所の方、地域ケアプラザ、町内会役員、近隣の方、利用者家族が出席し、事業所の活動状況や行事報告、地域の行事などを議題とし、熱心に意見交換を行って業務に反映しています。

<工夫点>

家族との温かいつながりを大切にしています。職員は日頃より気付いた事を利用者毎に小ノートに書き込み、来訪時にはそのノートをお見せしています。

「生活状況のお知らせ」と題し、日頃の利用者の生活面・歩行・排泄・入浴・食事・医師や歯科医の往診および受診状況を詳細に記入し、家族へ毎月送付して、温かい絆を大事にし、家族の安心につなげています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 野の花
ユニット名	コスモス

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様とその人らしく暮らせるような理念を作ったり、玄関・リビング・事務所に掲示し、常に意識して実践出来る様に努めています。	理念は開設時の管理者が職員と話し合って作成し、1階・2階の事務室とフロアに掲示しています。管理者は新入職員研修時に理念を配布して説明し、職員には日頃の介護・介助の中で、その人に合ったケアに心かけ実践につなげています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の運動会やお祭りには参加させて頂き、ホームのクリスマス会には近隣の方をお招きして交流を図っています。	町内会に加入し、利用者は地域の夏祭りや盆踊り、町内会の運動会を見物しています。散歩時には道路や公園のゴミ拾いを行っています。地元の保育園児が来訪して、歌や踊りを披露し、地域のボランティアの尺八やコーラスなどを観賞しています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご家族様や近隣の方、地域ケアプラザの方を交えて3ヶ月に1回運営推進会議を開き、情報・意見を交換してサービスの向上に役立てています。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に一回運営推進会議を行い、地域の方からのご意見やアドバイスを頂いて日頃のケアに活かしています。	運営推進会議は定期的に3ヶ月毎に開催しています。会議では、事業所の運営状況や活動内容の報告をし、意見交換を行い、地域の理解と支援を得て運営やサービスの向上に反映しています。	運営推進会議では、事業所の行事や新たな取組み、外部評価や情報公表制度の受審についても報告することで事業所の特徴や課題を地域住民に開示する機会にしていくことが期待されます。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括センターや区役所保護担当と連携し、連絡を取り合いながら協力関係を築き事業所のサービスの取組みを伝えていきます。	管理者は区役所介護保険課や高齢支援課に運営面や取組み状況を報告し、指導と助言を仰いでいます。介護保険の更新手続きを家族に替わって出向くこともあります。地域ケアプラザのフェスティバルに利用者の貼り絵の作品を出展しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的に身体拘束をしないケアを実践しています。玄関の施錠は夜間のみ行っていますが、ご家族の希望と同意により、居室の窓を施錠している入居者様がいらっしゃいます。	職員は身体拘束をしないケアの勉強会を行い、正しい理解に努めています。玄関は施錠せず見守りに努め自由な暮らしを支援しています。居室は一部の方は外部へ通じる段差のある出入り口があるため、安全面や家族の希望で施錠しています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されないよう注意を払い、防止に努めている	職員は研修等で虐待防止について学び職員同士で言動に気をつけて虐待防止に努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	朝礼などで権利擁護について職員同士で話し合いを持ち、学びながらそれらを活用出来るように支援しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には入居者様とご家族様に十分な説明をし理解・納得して頂ける様に努めています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議・ご意見箱などで、ご家族様のご要望を聞き日常生活の中では入居者様のご要望を取り入れながら運営に反映させています。	苦情や要望の担当窓口は、重要事項に明記し、契約時に説明しています。運営推進会議や家族の来訪時には、声かけして利用者の生活状況を説明し、意見や要望を聞いて運営に反映しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回職員会議を開き職員同士意見交換をしています。毎日の朝礼で管理者と職員同士で意見や提案を共有する時間を設けています。	管理者は月1回の職員会議や毎朝礼時に日常業務の職員の要望・意見を聞き、平成23年10月から、職員と個人面談を行い、意見や要望を聞いています。職員の提案により、ADLが進んだ利用者には、入浴の際にシャワーチェアを採り入れています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は個々のモチベーションが下がらない様に努力や実績を把握して、職場環境や労働条件の整備に努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は個人的に受けています。法人内でも統一した研修を行い、働きながらトレーニング出来るようにしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡協議会加入し、そこの勉強会や情報交換を行っています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始にあたっては本人のご要望を十分に聞きとり安心して頂けるような関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始にあたって、ご家族様のご要望を充分お聞きして不安の無いように関係作りに努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様の生活歴や心身の状態をよく把握して、サービスの内容を検討しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様にはご自分で出来る事をして頂いています。食器洗いや、植木の水やり等して頂き、談笑しながら共に暮らしているという意識を築いています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様と楽しめる機会をイベントなどで設け、参加して頂き入居者様とご家族様が一緒に楽しめるようにしています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	職員は入居者様の間人関係を把握し、友人や知人が訪問や電話をしやすい雰囲気作りに努めています。	利用者は家族と一緒に行きつけのファミリーレストランや中華街で食事をしたり、墓参りへ行く方もいます。時には、利用者の知人が来訪し、居室で歓談したり、手紙や年賀状が届き返信を書いて職員と一緒にポスト投函するなどの支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同志が良い関係を築ける様に職員が間に入り、入居者様同士の関係作りを支援しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	老人ホームに入られた方には、どうしていらっしゃるかご家族やホームに電話を入れ、今までの関係を大切にしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いやニーズが把握できるようにしっかりと向き合っており、入居者様の希望に添えるよう努めています。	職員は日常の行動や表情の中から、利用者の意向や希望を汲みとるように努めています。意向を自分から伝えにくい方には、散歩時や居室、夜間の静かな時間帯にマンツーマンで話を聞いています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者様のこれまでの生活歴・生活環境をアセスメントし、今までと同じ様に生活できる様な支援に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様にとって有意義な1日が過ごせるように、入居者様の心身状態・有する力の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ミーティングやカンファレンスで職員同士で意見を出し、話し合い、ご家族様の意見も取り入れながら介護計画を作成しています。</p>	<p>アセスメントを基に利用者や家族の要望や意向を入れ、職員間でカンファレンスし、モニタリングし、医師の意見を入れて作成しています。見直しは通常3ヶ月、変化があれば随時状況に応じて行っています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>身体状況の変化など、日々記録を取りながら看護師と相談するなどして介護計画の見直しをしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりの希望に添えるように、ご家族様とも相談しながら柔軟な支援が出来る様にしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>中学生の体験学習やボランティア、保育園児との交流を通して生活を楽しめるように支援しています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様とご家族様の希望を大切にし、24時間対応の医師の連携を取りながら適切な医療が受けられるように支援しています。</p>	<p>本人や家族の希望によりかかりつけ医による医療を継続して受診できるように支援しています。家族に替わって職員が通院介助する場合があります。医療情報は個人別の小ノートに書き留め、家族の面会時にお見せし、職員間でも共有しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者様の心身の変化に気づいたらすぐに医師と連携した看護師に連絡出来る体制になっており、適切な受診や看護が受けられるようになっていきます。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は、情報交換を主治医・ご家族様・病院関係者と常に行い、関係作りに努めています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホームでの終末期ケアは行っていないが、24時間体制の医療連携をとっており、ご家族様の意向を伺ってホームとして出来る限りの支援をしています。	入居時に「利用者の重度化に関する指針」を説明し、同意を得ています。急変時には主治医、看護師、家族と職員が話し合い、利用者にとって最善の方法を採るよう方針を関係者間で共有しています。	急変時や重度化に対応する職員の勉強会の実施も期待されます。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時マニュアル・事故発生時マニュアルを見やすい場所に貼ってあり、初期対応については定期的に訓練しています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時には地域の方々の協力も得られるようにして、夜間を想定した避難訓練も行っています。	防災・避難訓練は年2回、消防署の指導を得て、夜間想定の実施を行っています。職員が近隣に住み協力が得られる状況にあります。災害時の避難経路の確認を行い、まず、ベランダへ避難して救助を待つように消防署から指導を受けています。	防災・避難訓練には地域の方の協力体制が得られるよう、一層の働きかけを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重し、誇りやプライバシーを傷つけない様に言葉の使い方に配慮しています。	職員は入職時に守秘義務に関する誓約書を提出し、日頃よりプライバシーを損ねることのないように言葉づかいに配慮しています。その人その人なりの声かけを行い、やさしい接し方に努めています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で本人の希望や思いを表せるように、入居者様と職員が信頼関係を築き自己決定出来るように働きかけています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりのペースを尊重し、その希望に沿って日々の暮らしが出来るように支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみに注意して、常に清潔な身なりで季節に応じたお洒落も出来る様に支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事に季節感を取り入れて彩りに気を使っています。テーブル拭きや片づけを職員と入居者様とで一緒に行っています。	利用者は職員と一緒にもやしのひげとり、餃子づくり、配膳・下膳、食器洗い・拭き、テーブル下のモップ掛けを行っています。職員は同じ食卓で見守りや食事介助をしながら一緒に食事をしています。誕生会には外食したり手作りケーキを提供しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様の体調や栄養バランスを考え、トロミやあら刻みなど一人ひとりの形態を変えて、摂取出来る様に工夫しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行って頂いています。ご自分で出来ない方には介助をして行き清潔を保持しています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様ごとの排泄リズムに合わせてトイレに誘導し、トイレでの排泄が出来るように支援しています。	排便チェックリスト・生活リズムパターンシートで入居者の排泄パターンを把握したり、また入居者の仕草でトイレ誘導をしています。トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援で、パットを使用している入居者のパット使用枚数が減少しています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝牛乳を飲んで頂いたり、10時の水分補給時にプルーンの甘煮をお出ししたりして便秘の予防に取り組んでいます。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの体調を考慮した上で希望に合わせて、シャワー浴や入浴を楽しんで頂ける様に支援しています。	暑い時期はシャワーを含め週3日、寒い時期は最低でも週2日入浴しています。入浴を拒む人に対しては、時間を変え、職員を変え、言葉かけを変え、浴室へ付いてきてもらうように工夫しています。入浴好きな人は毎日入浴しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居様が生活習慣やリズムに合わせて休息したり、良く眠ることが出来るよう室温や寝具の調整等を行っています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が理解できる様に、服薬について申し送りノートに記載しています。症状が変化した時は医師・看護師に相談して確認しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活が充実出来るように役割分担を持っている。天気の良い日には近くの公園へ散歩に行き気分転換を図っています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	マンツーマンの外出も入居者の希望により行っています。車椅子を使用している入居者様も外出の機会を持てる様に支援しています。	毎日散歩をしている方もいます。週に3日散歩、2日買物と外出の機会を作っています。散歩は車いすの方も近隣の公園へ行きます。季節の外出では初詣、花見、こいのぼり見物などや年1度の小旅行で今年は山下公園、野毛山動物園へ遠出しています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の財布を持って自由に買い物をして頂ける様に、近隣のお祭りやショッピングに職員と一緒に出かけしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	友人・知人・家族にいつでも自由に電話を掛けて頂ける様にしている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が快適であるように温度調節に配慮し、リビングは季節感のある飾り付けをして居心地良く過ごして頂ける様に工夫しています。	感染症予防の加湿器を各階に設置し、窓を開け空気の入替えを行ない、室温調整に心がけ、室内が快適であるように配慮しています。壁にはお誕生祝いや小旅行の写真や季節の飾り付けをして居心地よく過ごしています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビを見たり新聞を読んだり、談話を楽しめる様にリビングにソファを置いて共有出来る空間を作っています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が居心地良く過ごせる様に、馴染みの物を持って来て頂いています。	居室の入口には統一され落ち着いた表札があります。クローゼット、エアコン、カーテンが備え付けで、7～8畳の広さです。居室にはテレビ、ラジオ、タンス、椅子などの馴染みの物を置き、仏壇、遺影、縫いぐるみなどを飾っています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の持っている力を引き出せる様に、リビングの掃除やテーブル拭きなど、出来る事はなるべくして頂くようにしています。		

事業所名	グループホーム 野の花
ユニット名	マーガレット

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当ホームの理念を念頭におき、各入居者様の健康管理や安心して暮らす事が出来る様に朝礼、全体会議等を通して実践に繋げています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会行事に参加させて頂いたり、散歩や公園へ行った時には近隣のわしています。ゴミ清掃当番の方にもお声を掛けています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生のボランティア活動や当ホームでの行事等において、地域の方々に参加して頂き認知症に対する理解を深めています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に一度の運営推進会議において地域ケアプラザや、近隣の方方、ご家族様と意見を交換して、内容をホーム内で共有しサービスの向上に活かしています。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括センターとの連携や区役所保護課担当者へは、毎月入居者様の様子を書面で知らせたり、直接連絡を取り意見を頂いたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的に身体拘束をしないケアを実践しています。夜間のみ出入口にセンサーをつけて玄関は施錠しています。やむをえず居室に付ける場合は、ご家族様に連絡して同意を頂いています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は研修等で権利擁護について学び、ホームにて全職員が共有できるように努めています。また、言動に気をつけ注意を払い虐待防止に努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	朝礼等で権利擁護について話し合い、職員間で学習し、活かしながら入居者様を支援しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や解約時には、入居者様及びご家族様に十分な説明をして理解、納得できる様に努め、不安の無い様に話し合いの場を持ち、了解を得ています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や面会時に、ご家族様の要望をお聞きし、日常の中において入居者様の意見を伺いながら、今後の運営に反映させています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の朝礼や、ユニット別のミーティング、月1回の全体会議において、意見やアイデア改善点等を管理者と話し合っています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	やりがいをを持って働ける様に、様々な研修や勉強会の機会があり、意欲的向上的になれるような環境や労働条件の整備に努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	当ホームにて講習や講義を行い、法人内の統一した研修をしてスキルアップを図っています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県や市のグループホーム連絡会に加入して、ネットワークづくりに参加しています。交換研修をして質の向上を図っています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始にあたり、介護サマリーを理解したり、入居者様やご家族様のご希望をお聞きして、カンファレンスを行い、安心安全に過ごせるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>初期アセスメントを充分に行い、ご家族様の要望や不安な事をお聞きしています。また、面会の都度良く話し合い要望に添う様に、関係作りに努めています。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>生活状況や心身の状態を理解し、今、一番何を必要としているかを見極め、マッサージ等、他のサービスの利用も含めた対応に努めています。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者様の持っている力や意欲を引き出せる様に、一緒に洗濯物をたたんで頂いたり、シーツ交換、掃除、食器洗い等をして信頼関係を築いています。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>行事等には、ご家族様をお誘いして一緒に楽しんで頂いたり、月に1回のお手紙で近況をお伝えして共に入居者様を支えていく関係を築いています。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>親しい方達が来所しやすい様な雰囲気作りをしたり、電話で関係が途切れないように支援に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	無理のないところで関わる事が出来る様に、毎日の生活の中で常に職員が潤滑油となって支援しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設へ移られた方へは、手紙を出したり、区役所担当者を通じて話を聞き、今までの関係を大切にしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居様と向き合い、話をよくお聞きし何を要望しているかを理解して、ご希望に添える様に支援しています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを充分にとり、生活歴等の把握に努め、以前と同様の生活が出来る様に工夫して、安心して過ごせるように支援しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居様の持っている力が引き出せるように、日々の心身状態を見極め充実した1日が過ごせる様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>個人記録やミーティング、3ヶ月毎のカンファレンスにより職員、家族、看護師と話し合い、意見や提案を反映して介護計画を作成しています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個々の記録や申し送りノート、夜勤者申し送りノートに記入して、職員が必ず目を通し共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしています。ADLが低下した時、看護師と連絡を取りながら個人記録を記入し、カンファレンスや介護計画の見直しをしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりの要望に添えるよに、何が一番必要なのかを考え、家族と共に相談しながら柔軟な支援が出来るようにしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の子供達との交流や中学生の体験学習、様々なボランティアさんを通し充実した生活が送れるように支援しています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様とご家族様、かかりつけ医との関係は大事にしています。往診時には、ご家族も同席する事もあり、直接心配な事を医師と話ができる様にしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者様の変化に気づいたら直ちに看護師に連絡を取り、医師に相談・指示を受け、適切な受診が受けられるようにしています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医、ご家族、病院の関係者と情報・協力を得て常に連絡が取り合えるような関係作りを行い、退院時には主治医に連絡をして指示を頂いています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所であることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当ホームでの終末期ケアは行っていない。ご家族の意向を伺ってホーム内で出来る限りの支援を24時間体制の主治医・看護師と共にチームで支援しています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生に備えて常に目の付く所にマニュアルを貼っています。初期対応については、応急処置等を看護師に指示を頂いています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は昼夜を問わず訓練を行っています。災害時には、地域の方の協力も得られる様にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	他の入居者様や人前で本人が言われたくない事を理解し、時と場所や言葉かけに配慮し誇りやプライバシーを損なわない様に対応に気を付けています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様やご家族様の思いや希望を尊重し、どのように実現できるかを話し合い、自己決定出来るように支援しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様それぞれが主人公である事を考え、一人ひとりの生活パターンや体調に合わせ、希望に添って支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った衣服や外出の際に着る服と一緒に選んだり、毎月理美容の方に訪問して頂き希望に添うようなカットをお願いしています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の物を取り入れたり、好みに合わせた献立を決めて、目で見て楽しんで頂ける様に盛り付けなどを工夫しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>体調に合わせた栄養バランス、食事量や水分量を記録に残し、摂取できるように工夫して支援しています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアをして頂いており、場合によっては歯科医の指導のもとに歯間ブラシやタクトブラシ使用し清潔が保てる様に支援しています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>各個人の排泄リズムを把握し表情を読み取りトイレに誘導しています。また、一人でも排泄出来る様にポータブルトイレを利用して自立に向けた支援をしています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取の把握や牛乳、ヨーグルト、ヤクルト、プルーン等を提供したり、軽い体操をして頂いて便秘予防に取り組んでいます。困難な時には医師や看護師と相談しています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入居様様の体調や気分を考え、希望に添うように入浴して頂いています。シャワー浴や足浴も取り入れ、自由に入浴できるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣や体調に合わせた休息リズムを大切に、夜間は不快な思いをしないように、照明・室温・寝具・寝巻等の調整をおこなっています。		
47		服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容は、受診ノートや申し送りノートに記入して、職員全員が理解出来る様になっています。症状の変化には医師・看護師と常に相談し確認しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの入居者様の好きな事や、趣味を生かした日常生活が送れる様に支援しています。気分転換に散歩をしたり、1階の入居者様を交えて体操やレクリエーションをしています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者様のその日の希望に添って、1：1の外出も出来る様に支援しています。遠出をする時は体調に合わせて車椅子の方も無理のない外出が出来る様に支援しています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	地域のお祭りや、買い物に行く時は、個人のお財布を持って頂き、自由に使って頂いています。また、広告を見て予算と一緒に相談して決めて頂く時もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居様が希望された時は、いつでも電話をかけて頂き、はがきや便せん等は常に用意して、書けない方には代筆しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔を保ち、温度や湿度に配慮しています。夜間の照明も安眠できる様にしています。玄関やリビング・浴室には季節を取り入れた花や飾りなどで工夫しています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファに座られて新聞や雑誌を見たり、テレビを見ながら入居者様同士でお話をされている時は、お茶をお出ししたりしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や、お気に入りの服など、馴染みの物を使って頂いて居室内を心地良く過ごせるよう工夫しています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの入居者様の出来る事、出来ない事を理解し、安全な日常生活が送れる様に支援しています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		現在地域とのつながりは運営推進会議と町内の行事のみである	町内の方と親睦を深められるよう地域との関わりを増やしていく	地域の方々がグループホームへの理解を深めて頂けるようにホームへの行事や避難訓練等に参加のお誘いをしていく。	6ヶ月
2		入居様様の誇りやプライバシーを損ねないような対応をしていく	人生の先輩である入居様様の人格を尊重しプライバシーが保てるよう対応する	入居様様それぞれに合わせた言葉がけや対応をしていく	6ヶ月
3		入居様様の希望や思いが自然に表せるような環境作りをしていく	入居様様が希望される1日の過ごし方を察し支援する	入居様様と信頼関係を築き思いや希望を汲み取れるようにする	3ヶ月
4		毎日楽しく食事を召し上がって頂けるようにする	入居様様に手伝って頂いたりしながら食事を作り楽しく食事できるような環境を作る	洗い物やテーブル拭きなど出来る方にはスタッフと一緒にやって頂くようにする	3ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。